

### 学会発表

(\*は財団研究員；\*\*は客員研究員)

#### 第19回日本応用老年学会大会(2024/11/9-10: 神奈川)

- ①上原桃美\*, 中村正人\*\*「特別養護老人ホーム職員の防災意識の実態」

【発表要旨】防災意識尺度を用い、特養職員の防災意識の程度を示した。特養職員の防災意識は行政職員よりも高いほどの高水準であり、特養での防災に関する取り組みの成果である可能性が示唆されたが、これに関しては今後の検証が必要である。

- ②佐々木晶世\*, 土屋瑠見子\*, 石橋智昭\*「高齢者施設における看取り対応へ向けての意向確認の現状と利用者の背景：インターライ方式によるアセスメントデータより」

【発表要旨】特別養護老人ホームやグループホームと比べて介護老人保健施設の利用者の方が「もしものとき」の医療行為に関する事前指示ありの利用者が少なかったのは、在宅復帰を目的とした施設特性の可能性がある。

- ③石橋智昭\*, 上野芳江「シルバー人材センター会員における通勤時の事故：都内58センターの2022年度データより」

【発表要旨】都内の通勤時事故は全国平均よりも多く、その大半は単独事故が占め、男性では自転車の操作ミス、女性では歩行時のつまづきが主要原因であり、受傷時の骨折リスクは男性よりも女性が約2倍高かった。

- ④土屋瑠見子\*, 松岡洋子, 西田和正, 花里真道, 近藤克則「地域在住高齢者における住宅の居住階数と外出頻度：JAGES2019 横断研究」

【発表要旨】地域在住高齢者における住宅の居住階数と外出頻度との関連を検討した結果、エレベーターのある集合住宅中層階居住者では外出頻度が高い者が多いことがわかった。外出支援策では居住階も考慮する必要性が示唆された。

- ⑤安順姫\*, 新野直明\*\*, 芳賀博\*\*「地域高齢者を対象とした在宅型の心の健康増進プログラムの試み」

【発表要旨】在宅型の心の健康増進プログラムの継続群

では、Well-beingへのポジティブな影響が見られた。一方で、うつ状態の人を含む脱落群も一定程度存在し、通所型よりも手厚いサポートが求められることが明らかとなった。

- ⑥石橋智明\*. 公開シンポジウム『ジェロントロジーを学ぶ価値』の座長を担当

#### 第33回日本健康医学会総会(2024/11/9: 東京)

- 佐々木晶世\*「高齢者施設における事前指示と利用者の背景との関連」

【発表要旨】高齢者施設利用者に「もしものとき」の医療行為に関する事前指示があることは、年齢、日常生活動作、認知機能、うつ、家族との関わりなど利用者の背景が影響することが示唆された。

#### 第44回日本看護科学学会(2024/12/8: 熊本)

- 佐々木晶世\*, 廣岡佳代\*\*, 五十嵐歩\*\*, 二宮彩子\*\*, 金田明子\*\*「高齢者施設における看取りケアに向けたACPと看護職の役割」

【発表要旨】インターライ方式によるアセスメントデータを用いたこれまでの研究の成果を紹介するとともに、新たな書籍(看取りケア版)を高齢者施設や在宅での看取りで活用するための方策について意見交換を行った。

### 講演など

#### 石橋智昭:

- ①新潟県シルバー人材センター連合会役員研修会において「シルバー人材センター事業に役立つ老年学のススメ」を講演(10/24、オンライン)
- ②東邦大学看護学部「健康政策論」の講義を担当(10/2~11/20、計7回)
- ③東邦大学大学院看護学研究科「健康政策特論」の講義を担当(12/10~1/20、計5回)
- ④全国シルバー人材センター事業協会「経営力向上研修」の講義を担当(12/17)

#### 佐々木晶世:

- ①横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻「老年看護学特講II」の講義を担当(11/18)

## ◆ Dia Information ◆

②横浜市立大学医学部看護学科1年「公衆衛生学」の講義を2コマ担当 (12/16)

③千葉県立野田看護専門学校1年「地域包括ケア演習」の講義を担当 (12/23 (2コマ)、1/7、1/20)

**土屋瑠見子：**

①慈恵柏看護専門学校2年「暮らしを支える看護技術」の講義を担当 (10/17)

②神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科「未病社会のライフデザイン」の講義を担当 (1/28)

### 書籍出版

(※は財団評議員；\*は財団研究員；\*\*は客員研究員)

池上直己\*監訳、佐々木晶世\*、石橋智昭\*、高野龍昭\*\*、二宮彩子\*\*、廣岡佳代\*\*、五十嵐歩\*\*、小野恵子\*\*、金田明子\*\*、土屋瑠見子\*「インターライ方式看取りケアのためのアセスメントとケアプラン」医学書院 (2024年12月発行)  
(本書の内容については、本誌16ページ「財団研究紹介」でもご紹介しておりますので、ご参照ください。)

### 寄稿・取材記事ほか

**森義博：**

① (株)セールス手帖社保険FPS研究所「LA情報」：「人口動態統計に表れた熟年離婚 (10月)、最新の簡易生命表にみる平均余命と生存確率 (11月)、昔と今の65歳—『高齢者』とは (12月)、定年制度と高齢者の就労 (1月)」

② (株)セールス手帖社保険FPS研究所「注目のトピックス」：「『平均寿命』でも『平均余命』でもなく『生存確率』で (11月)、熟年離婚は本当に増えているのか (12月)、65歳は『高齢者』なのか (1月)」

**「介護と就労に関する調査」(2020年3月実施)**

2件の調査結果データ(「介護中の苦勞」、「介護に関する不安と不満」)が、(株)日本SPセンターが運営するWEBサイト「シニアマーケティング研究室」に掲載されました。(12/10)

**「50代・60代の働き方に関する調査」(2018年2月実施)**  
「何歳まで働きたいか」に関する調査結果が、12/28 放送のNHK Eテレ「今君電話」で紹介されました。

### その他

**【DiaL更新】**

「社会老年学文献データベース (DiaL)」の第46回更新 (新規登録370件) を完了 (12/2)。登録論文総数は15,087件です。

### ダイヤ財団・オレンジクロス共催シンポジウム オンライン配信のご案内

本誌8ページ「DiaReport」でご紹介しておりますダイヤ財団・オレンジクロス共催シンポジウム「ストップ介護離職5—サポートを100%活かす—」の録画映像をオンラインで無料配信中です。視聴をご希望の方は、財団ホームページ (<https://dia.or.jp>) からお申込みいただけます。



**【財団ホームページからの申込方法】**

① トップページ上部の「2024年度ダイヤ財団・オレンジクロス共催シンポジウム」の「お申込みはこちら」をクリック

② 「財団主催シンポジウム・セミナー」画面の「2024年度シンポジウム」の「視聴方法」に記載の申込サイトのURL (<https://online.npc-tyo.co.jp/pages/5524/dia2024sympo/>) をクリック

③ 申込サイトから必要事項をご入力の上、お申し込みください

申込期間：2025年3月30日 (日) 18時まで

視聴期間：2025年3月31日 (月) 24時まで

視聴料金：無料